

【用途：小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】※市町村毎にとりまとめの上、五十音順

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (耐震改修に係る補足)
						内容	実施時期		
1	沼田市立川田小学校	沼田市 下川田町 540	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.25$ $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	-	-		耐震改修済 平成25年12月完了
	$I_s/I_{S0}=1.30$ $C_{TU} \cdot S_D=0.67$				耐震改修済 平成22年10月完了				
2	沼田市立白沢小学校	沼田市 白沢町高平 94-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.36$ $C_{TU} \cdot S_D=0.68$	-	-	・校舎部分	耐震改修済 平成19年11月完了
	$I_s/I_{S0}=1.26$ $C_{TU} \cdot S_D=0.81$				耐震改修済 平成27年12月完了				
	$I_s/I_{S0}=1.21$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$								
3	沼田市立沼田東小学校	沼田市 東原新町 1801-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{S0}=1.43$ $C_T \cdot S_D=0.93$	-	-		耐震改修済 平成13年10月完了
	$I_s/I_{S0}=1.20$ $C_T \cdot S_D=0.57$								
4	洪川市立伊香保小学校	洪川市 伊香保町伊香保 322番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.33$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	-	-		

【用途：小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】※市町村毎にとりまとめの上、五十音順

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (耐震改修に係る補足)
						内容	実施時期		
5	渋川市立北橋中学校	渋川市北橋町真壁46番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.30$ $C_{TU} \cdot S_D=0.80$	-	-		耐震改修済 平成19年3月完了
	校舎棟								
6	渋川市立子持中学校	渋川市中郷2258番地3	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.21$ $C_{TU} \cdot S_D=0.77$ $I_s/I_{s0}=1.18$ $C_{TU} \cdot S_D=0.74$ $I_s/I_{s0}=1.40$ $C_{TU} \cdot S_D=0.88$	-	-	・本体棟部分 ・西便所棟及び塔屋棟部分 ・東便所棟及び塔屋棟部分	耐震改修済 平成23年1月完了
	校舎棟								
7	渋川市立渋川北中学校	渋川市金井1044番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.18$ $C_{TU} \cdot S_D=0.77$ $I_s/I_{s0}=1.23$ $C_{TU} \cdot S_D=0.70$	-	-	・北ゾーン ・西ゾーン	耐震改修済 平成28年2月完了
	校舎棟								
8	渋川市立渋川中学校	渋川市渋川2555番地2	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.20$ $C_{TU} \cdot S_D=0.73$ $I_s/I_{s0}=1.56$ $C_{TU} \cdot S_D=0.47$ $I_s/I_{s0}=1.20$ $C_{TU} \cdot S_D=0.68$ $I_s/I_{s0}=1.91$ $C_{TU} \cdot S_D=0.94$ $I_s/I_{s0}=1.28$ $C_{TU} \cdot S_D=0.77$ $I_s/I_{s0}=2.21$ $C_{TU} \cdot S_D=0.55$	-	-	・地上1階から4階部分 ・塔屋階部分 ・教室棟ゾーン ・トイレ棟ゾーン	耐震改修済 平成26年12月完了
	北校舎棟								
	南校舎棟								
	昇降口棟								
	渡り廊下棟								

【用途：小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】※市町村毎にとりまとめの上、五十音順

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (耐震改修に係る補足)	
						内容	実施時期			
9	洪川市立 橋小学校	洪川市 北橋町真壁 524番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.25$ $C_{TU} \cdot S_D=0.53$	-	-			
	校舎棟									
10	洪川市立 長尾小学校	洪川市 北牧 85番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.35$ $C_{TU} \cdot S_D=0.82$	-	-		耐震改修済 平成28年2月完了	
	普通教室棟									
11	藤岡市立 鬼石小学校	藤岡市 鬼石 439番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.20$ $C_{TU} \cdot S_D=0.47$	-	-	・地上1階から3階部分	耐震改修済 平成21年3月完了	
	北校舎棟				$I_s/I_{s0}=1.25$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$					・塔屋階部分(階段室)
					$I_s/I_{s0}=2.30$ $C_{TU} \cdot S_D=1.48$					
12	藤岡市立 小野小学校	藤岡市 森 541番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.26$ $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	-	-	・地上1階から3階部分	耐震改修済 平成24年3月完了	
	普通教室棟				$I_s/I_{s0}=1.43$ $C_{TU} \cdot S_D=1.07$					・塔屋階部分(階段室)
					$I_s/I_{s0}=3.60$ $C_{TU} \cdot S_D=2.21$					

【用途：小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】※市町村毎にとりまとめの上、五十音順

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (耐震改修に係る補足)
						内容	実施時期		
13	藤岡市立 神流小学校	藤岡市 上戸塚 190番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)					
	普通教室棟 (東側)				$I_s/I_{S0}=1.23$ $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	-	-		耐震改修済 平成24年2月完了
	普通教室棟 (西側)				$I_s/I_{S0}=1.35$ $C_{TU} \cdot S_D=0.84$			耐震改修済 平成23年3月完了	
特別教室棟	$I_s/I_{S0}=1.26$ $C_{TU} \cdot S_D=0.68$	耐震改修済 平成23年3月完了							
14	藤岡市立 北中学校	藤岡市 下栗須 283番地2	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)					
	普通教室棟 (東側)				$I_s/I_{S0}=1.35$ $C_{TU} \cdot S_D=0.50$	-	-		
	普通教室棟 (西側)	$I_s/I_{S0}=1.21$ $C_{TU} \cdot S_D=0.76$			耐震改修済 平成23年8月完了				
15	藤岡市立 第一小学校	藤岡市 藤岡 1848番地2	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)					
	普通教室棟 (東側)				$I_s/I_{S0}=1.33$ $C_{TU} \cdot S_D=0.81$	-	-	地上1階から3階部分 ・塔屋階部分(階段室) ・塔屋階部分(エレベーター機械室)	耐震改修済 平成24年3月完了
					$I_s/I_{S0}=2.16$ $C_{TU} \cdot S_D=0.51$				
					$I_s/I_{S0}=2.55$ $C_{TU} \cdot S_D=1.55$				
普通教室棟 (西側)	$I_s/I_{S0}=1.31$ $C_{TU} \cdot S_D=0.80$			耐震改修済 平成25年1月完了					

【用途：小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】※市町村毎にとりまとめの上、五十音順

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (耐震改修に係る補足)
						内容	実施時期		
16	藤岡市立東中学校	藤岡市本郷786番地	中学校						
	普通教室棟(南校舎棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.18$ $C_{TU} \cdot S_D=0.73$			・地上1階から3階部分	耐震改修済 平成21年3月完了
				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{S0}=1.91$	—	—	・塔屋階部分	
17	藤岡市立藤岡第二小学校	藤岡市藤岡991番地	小学校						
	北校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.33$ $C_{TU} \cdot S_D=0.81$			・地上1階から3階部分	耐震改修済 平成21年3月完了
				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{S0}=1.41$	—	—	・塔屋階部分	
18	富岡市立富岡小学校	富岡市富岡1359番地	小学校						
	西校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.26$ $C_{TU} \cdot S_D=0.79$				耐震改修済 平成22年12月完了
	東校舎棟				$I_s/I_{S0}=1.26$ $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	—	—		
南校舎棟		$I_s/I_{S0}=1.66$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$							

【用途：小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】※市町村毎にとりまとめの上、五十音順

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (耐震改修に係る補足)
						内容	実施時期		
19	富岡市立 富岡中学校	富岡市 七日市 1116番地1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)					
	003校舎棟				$I_s/I_{s0}=1.20$ $C_{TU} \cdot S_D=0.75$				
	004校舎棟				$I_s/I_{s0}=1.36$ $C_{TU} \cdot S_D=0.83$	—	—		耐震改修済 平成22年10月完了
	007校舎棟				$I_s/I_{s0}=1.16$ $C_{TU} \cdot S_D=0.77$				
20	富岡市立 西中学校	富岡市 宮崎 20番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)					
	西棟				$I_s/I_{s0}=1.55$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	—	—	・校舎棟部分	耐震改修済 平成22年11月完了
	東棟				$I_s/I_{s0}=2.23$ $C_{TU} \cdot S_D=1.40$			・便所棟部分	
					$I_s/I_{s0}=1.38$ $C_{TU} \cdot S_D=0.64$			・校舎棟部分	
$I_s/I_{s0}=1.63$ $C_{TU} \cdot S_D=1.02$		・便所棟部分							
21	安中市立 碓東小学校	安中市 岩井 字五反田62	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)					
	校舎棟				$I_s/I_{s0}=1.55$ $C_{TU} \cdot S_D=0.96$	—	—		耐震改修済 平成27年3月完了
22	安中市立 第一中学校	安中市 安中 5-8-1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)					
	北校舎棟				$I_s/I_{s0}=1.40$ $C_{TU} \cdot S_D=0.86$	—	—		耐震改修済 平成26年8月完了
	南校舎棟				$I_s/I_{s0}=1.38$ $C_{TU} \cdot S_D=0.86$				
	体育館				$I_s/I_{s0}=1.65$ $C_{TU} \cdot S_D=0.55$				耐震改修済 平成25年3月完了

【用途：小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】※市町村毎にとりまとめの上、五十音順

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (耐震改修に係る補足)
						内容	実施時期		
23	安中市立 第二中学校	安中市 原市 2261	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)					
	教室棟				$I_s/I_{S0}=1.35$ $C_{TU} \cdot S_D=0.84$	-	-	・校舎棟部分 (桁行方向)	耐震改修済 平成25年10月完了
					$I_s/I_{S0}=1.56$ $C_{TU} \cdot S_D=0.98$			・便所棟部分 (桁行方向)	
					$I_s/I_{S0}=1.66$ $C_{TU} \cdot S_D=1.05$			・全体(張間方向)	
					$I_s/I_{S0}=2.10$ $C_{TU} \cdot S_D=0.65$			・校舎棟部分 (桁行方向)	耐震改修済 平成25年3月完了
					$I_s/I_{S0}=1.33$ $C_{TU} \cdot S_D=0.84$			・便所棟部分 (桁行方向)	
管理教室棟	$I_s/I_{S0}=1.31$ $C_{TU} \cdot S_D=0.82$	・全体(張間方向)							
技術棟	$I_s/I_{S0}=1.20$ $C_{TU} \cdot S_D=0.50$								
24	安中市立 松井田東中学校	安中市 松井田町 新堀236-16	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)					
	校舎棟				$I_s/I_{S0}=1.30$ $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	-	-		耐震改修済 平成26年2月完了
25	群馬県立 渡良瀬特別支援学校	みどり市 笠懸町 鹿2812	特別支援 学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)					
	管理棟(南西)				$I_s/I_{S0}=1.96$ $C_T \cdot S_D=0.38$	-	-		
	管理棟(南東)				$I_s/I_{S0}=1.98$ $C_T \cdot S_D=0.46$				
	教室棟・特別教室 棟(中西)				$I_s/I_{S0}=1.53$ $C_T \cdot S_D=0.31$				
	教室棟(中東)				$I_s/I_{S0}=1.70$ $C_T \cdot S_D=0.68$				
	教室・厨房棟 (北西)				$I_s/I_{S0}=1.68$ $C_T \cdot S_D=1.08$				
	体育館				$I_s/I_{S0}=1.68$ $C_T \cdot S_D=0.49$				
	教室棟(北東)				$I_s/I_{S0}=3.68$ $C_T \cdot S_D=0.97$				

【用途：小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】※市町村毎にとりまとめの上、五十音順

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (耐震改修に係る補足)				
						内容	実施時期						
26	みどり市立 大間々北小学校	みどり市 大間々町 桐原653番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.28$ $C_T \cdot S_D=0.85$	-	-		耐震改修済 平成10年9月完了				
	一般教室棟												
27	みどり市立 大間々南小学校	みどり市 大間々町 大間々884	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.25$ $C_{TU} \cdot S_D=0.81$	-	-		耐震改修済 平成21年11月完了				
	1・3期棟(東)												
	2期棟(西)												
28	みどり市立 笠懸北小学校	みどり市 笠懸町 阿左美3730番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.21$ $C_{TU} \cdot S_D=0.56$	-	-	・ゾーン①北	耐震改修済 平成22年12月完了				
	校舎棟									$I_s/I_{s0}=1.36$ $C_{TU} \cdot S_D=0.72$	-	-	・ゾーン②中
										$I_s/I_{s0}=1.30$ $C_{TU} \cdot S_D=0.77$			・ゾーン③南東
										$I_s/I_{s0}=1.46$ $C_{TU} \cdot S_D=0.88$			・ゾーン④南西
29	みどり市立 笠懸東小学校	みどり市 笠懸町 阿左美1010番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.30$ $C_{TU} \cdot S_D=0.82$	-	-	・ゾーン①北	耐震改修済 平成22年12月完了				
	一般教室棟									$I_s/I_{s0}=2.18$ $C_{TU} \cdot S_D=1.37$	-	-	・ゾーン②南
30	榛東村立 北小学校	北群馬郡榛東村 大字山子田 1261番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.28$ $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	-	-	・Aゾーン(本体)					
	西校舎棟									$I_s/I_{s0}=6.08$ $C_{TU} \cdot S_D=3.66$	-	-	・Bゾーン(機械室)
										$I_s/I_{s0}=1.23$ $C_{TU} \cdot S_D=0.74$			・Aゾーン(本体)
										$I_s/I_{s0}=4.56$ $C_{TU} \cdot S_D=2.74$			・Bゾーン(機械室)
										$I_s/I_{s0}=1.41$ $C_{TU} \cdot S_D=0.85$			
東校舎棟													
南校舎棟													

【用途：小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】※市町村毎にとりまとめの上、五十音順

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (耐震改修に係る補足)
						内容	実施時期		
31	榛東村立南小学校	北群馬郡榛東村大字広馬場1142番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.30$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	-	-		耐震改修済 平成22年9月完了
	普通教室棟								
32	吉岡町立明治小学校	北群馬郡吉岡町大字北下433番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.20$ $C_{TU} \cdot S_D=0.73$ $I_s/I_{S0}=3.13$ $C_{TU} \cdot S_D=1.43$	-	-	・本体部分 ・機械室部分	耐震改修済 平成24年1月完了
	本校舎棟								
33	吉岡町立吉岡中学校	北群馬郡吉岡町大字南下1383-2番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.36$ $C_{TU} \cdot S_D=0.83$ $I_s/I_{S0}=1.73$ $C_{TU} \cdot S_D=1.05$ $I_s/I_{S0}=1.43$ $C_{TU} \cdot S_D=0.87$ $I_s/I_{S0}=1.38$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$ $I_s/I_{S0}=1.28$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	-	-	・校舎部分 ・西便所棟 ・東便所棟 ・校舎部分 ・渡り廊下部分	耐震改修済 平成19年10月完了
	北校舎棟								
	西校舎棟								
34	草津町立草津小学校	吾妻郡草津町大字草津3番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.38$ $C_{TU} \cdot S_D=0.42$ $I_s/I_{S0}=1.36$ $C_{TU} \cdot S_D=0.46$ $I_s/I_{S0}=1.41$ $C_{TU} \cdot S_D=0.89$ $I_s/I_{S0}=2.83$ $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	-	-	・南校舎西部分 ・南校舎東部分 ・北校舎部分 ・渡り廊下部分	耐震改修済 平成22年10月完了
	校舎棟								
35	草津町立草津中学校	吾妻郡草津町大字草津464番地27	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.26$ $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	-	-		耐震改修済 平成22年9月完了
	校舎棟								

【用途：小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】※市町村毎にとりまとめの上、五十音順

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (耐震改修に係る補足)		
						内容	実施時期				
36	みなかみ町立 新治中学校	利根郡 みなかみ町 布施238	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.35$ $C_{TU} \cdot S_D=0.84$	—	—		耐震改修済 平成21年12月完了		
	校舎										
37	玉村町立 上陽小学校	佐波郡玉村町 樋越 921-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.30$ $C_{TU} \cdot S_D=0.81$	—	—	・校舎部分	耐震改修済 平成23年3月完了		
	普通教室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{s0}=1.12$					・階段、便所部分	
	特別教室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.53$ $C_{TU} \cdot S_D=0.96$						耐震改修済 平成23年3月完了
	管理棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=3.20$ $C_{TU} \cdot S_D=1.43$					・地上1階部分	
				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{s0}=1.30$					・トップライト部分	
	渡り廊下棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.78$ $C_{TU} \cdot S_D=0.71$						

【用途：小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】※市町村毎にとりまとめの上、五十音順

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (耐震改修に係る補足)
						内容	実施時期		
38	板倉町立 板倉中学校	邑楽郡板倉町 大字板倉 2270番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0}=1.23$ $C_T \cdot S_D=0.63$	-	-		耐震改修済 平成12年10月完了
	北棟				$I_s/I_{s0}=1.36$ $C_T \cdot S_D=0.74$				
	南棟								
39	千代田町立 千代田中学校	邑楽郡千代田町 大字赤岩 字下桧内 1920番1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.20$ $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	-	-	・管理、特別教室部分	耐震改修済 平成16年9月完了
	普通教室棟				$I_s/I_{s0}=1.36$ $C_{TU} \cdot S_D=0.80$				
					$I_s/I_{s0}=1.40$ $C_T \cdot S_D=0.37$				
40	大泉町立 西小学校	邑楽郡大泉町 大字古氷 106番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.41$ $C_{TU} \cdot S_D=0.85$	-	-		耐震改修済 平成27年11月完了
	普通教室棟(東)				$I_s/I_{s0}=1.25$ $C_{TU} \cdot S_D=0.76$				
	普通教室棟(西)				$I_s/I_{s0}=2.06$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$				
	渡り廊下棟				$I_s/I_{s0}=1.31$ $C_{TU} \cdot S_D=0.79$				
	管理・特別教室棟								

【用途：小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】※市町村毎にとりまとめの上、五十音順

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (耐震改修に係る補足)					
						内容	実施時期							
41	大泉町立南小学校	邑楽郡大泉町仙石2-1-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.30$ $C_{TU} \cdot S_D=0.80$	-	-		耐震改修済 平成25年12月完了					
	低学年棟				$I_s/I_{S1}=1.51$ $C_{TU} \cdot S_D=0.73$									
	低学年昇降口棟				$I_s/I_{S2}=1.16$ $C_{TU} \cdot S_D=0.72$									
	管理棟				$I_s/I_{S0}=1.35$ $C_{TU} \cdot S_D=0.84$									
	高学年棟				$I_s/I_{S0}=1.05$									
	高学年昇降口棟				$I_s/I_{S0}=1.40$ $C_T \cdot S_D=0.68$									
42	邑楽町立邑楽中学校	邑楽郡邑楽町大字中野2371	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{S0}=1.33$ $C_T \cdot S_D=0.86$	-	-	・本体棟部分 (桁行方向)	耐震改修済 平成16年10月完了					
	北校舎教室棟				$I_s/I_{S0}=1.40$ $C_T \cdot S_D=0.37$					・便所棟部分 (桁行方向)				
					$I_s/I_{S0}=1.28$ $C_T \cdot S_D=0.83$						・全体(張間方向)			
	北校舎 管理教室棟・図書館				$I_s/I_{S0}=1.48$ $C_T \cdot S_D=0.95$					-		-	・本体棟部分 (桁行方向)	耐震改修済 平成15年10月完了
					$I_s/I_{S0}=1.20$ $C_T \cdot S_D=0.61$						・便所棟部分 (桁行方向)			
					$I_s/I_{S0}=1.38$ $C_T \cdot S_D=0.89$									
					$I_s/I_{S0}=1.80$ $C_T \cdot S_D=1.16$						・図書館棟			

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I	II	III
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	—	—	$1.0 \leq I_S/I_{S0}$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（1990年版）	$I_S/I_{S0} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_S/I_{S0}$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$
			$1.25 < C_T \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（2001年版）	$I_S/I_{S0} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_S/I_{S0}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$

I：地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

II：地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

III：地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

(※) 震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。